

# 南武支線沿線まちづくりアンケート結果のご報告

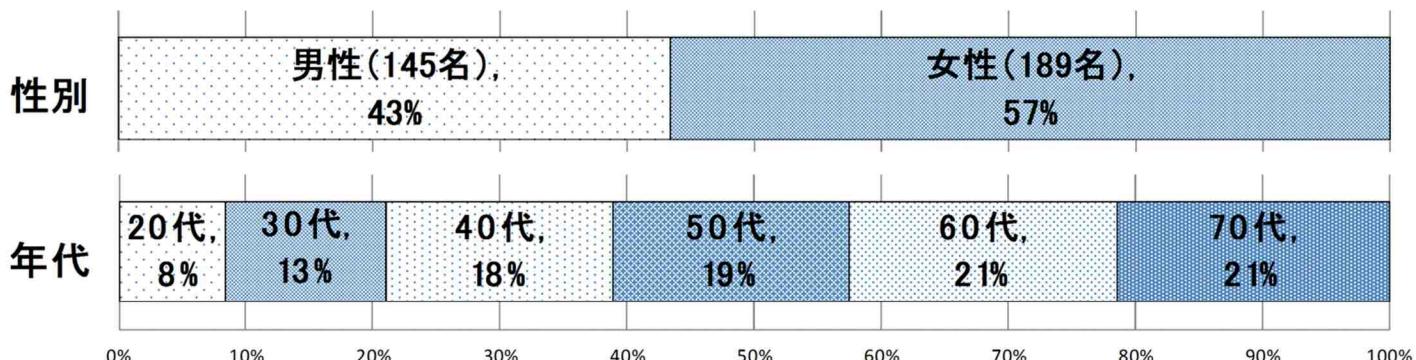
平成 29 年 9 月 川崎市

川崎市では、「小田栄駅の新設」や「新たな密集市街地対策」などを契機に、南武支線の利便性・快適性の向上や、沿線の住みやすさ・地域の活性化などをめざすため、「南武支線沿線まちづくり方針」の策定に向けた検討を進めているところです。そこで、沿線地域在住の皆様に、アンケートにご協力いただき、沿線地域に関するご意見をうかがいました。

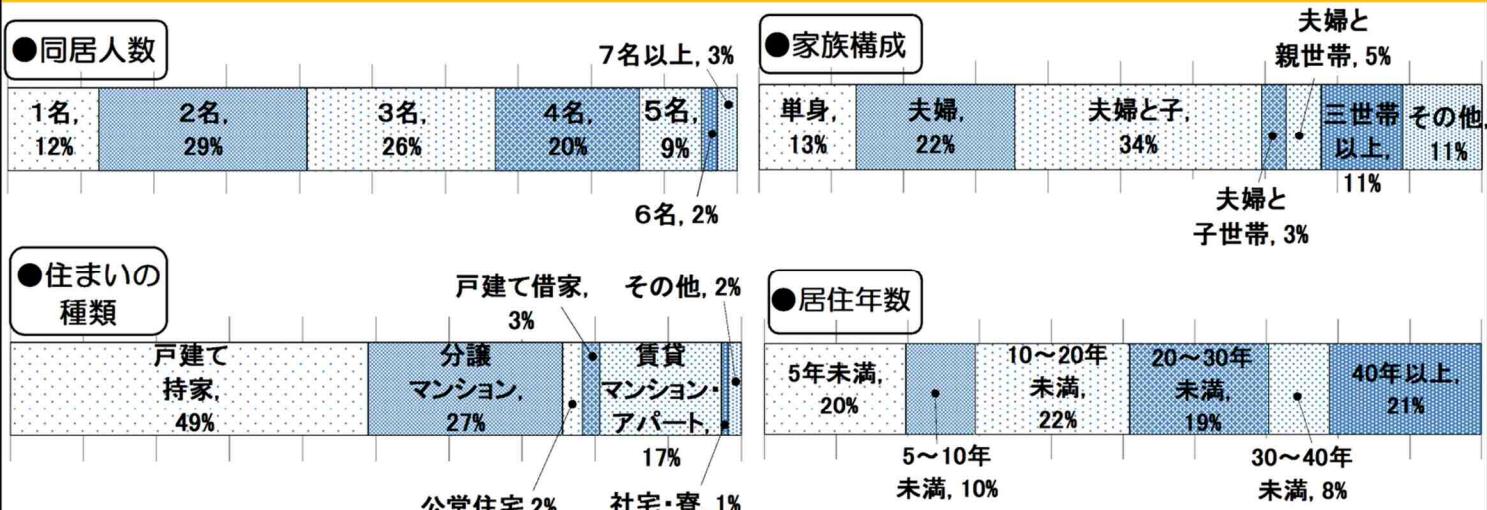
【アンケート対象者】：沿線地域在住の満 18 歳から 80 歳の男女個人（住民基本台帳から無作為抽出）

【実施期間】：平成 29 年 7 月 【実施方法】：郵送配布・郵送回収

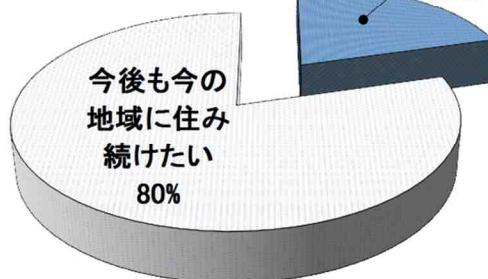
## ■アンケート回答者の属性（配布対象者数：1000名 回答者数：334名）



## ■現在の居住環境や居住意向



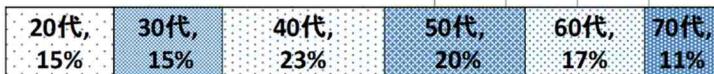
## ●居住・転出意向



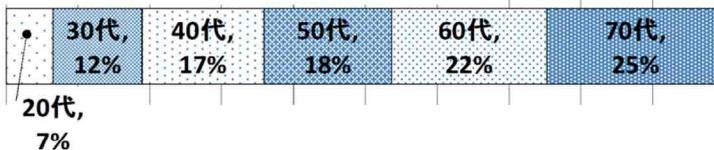
いずれは転出を考えている  
20%

内訳

## ●いずれは転出を考えている方の年代別割合



## ●今後も今の地域に住み続けたい方の年代別割合

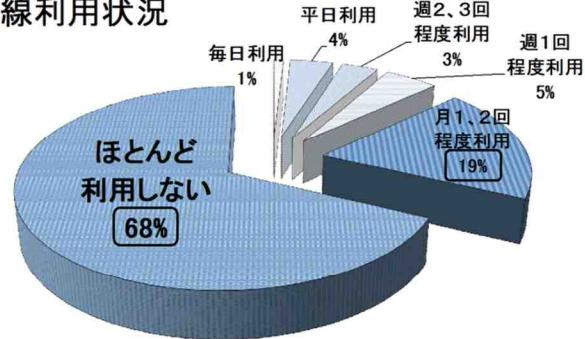


○「今後も今の地域に住み続けたい方」の割合は 80 % となっており、年代別では 70 代、次いで 60 代が多い結果となりました。また、「いずれは転出を考えている方」の割合は 20 % となっており、年代別では 40 代、次いで 50 代が多い結果となりました。

## ■行動範囲

### ●南武支線とバスの利用状況について

#### ●南武支線利用状況

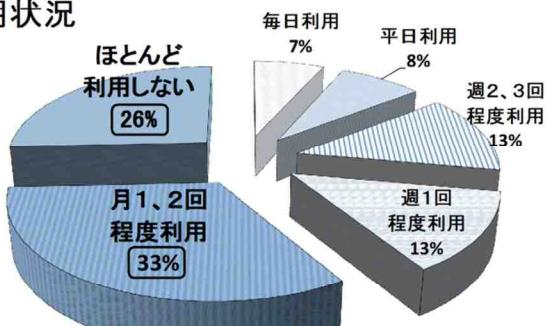


理由

#### 【南武支線をあまり利用しない理由】

バスの方が便利	41%
移動は自転車を利用	35%
電車の本数が少ない	35%
乗換えが不便	28%
移動は自家用車を利用	26%
最寄り駅まで遠い	18%
外出しない	10%
その他	14%

#### ●バス利用状況



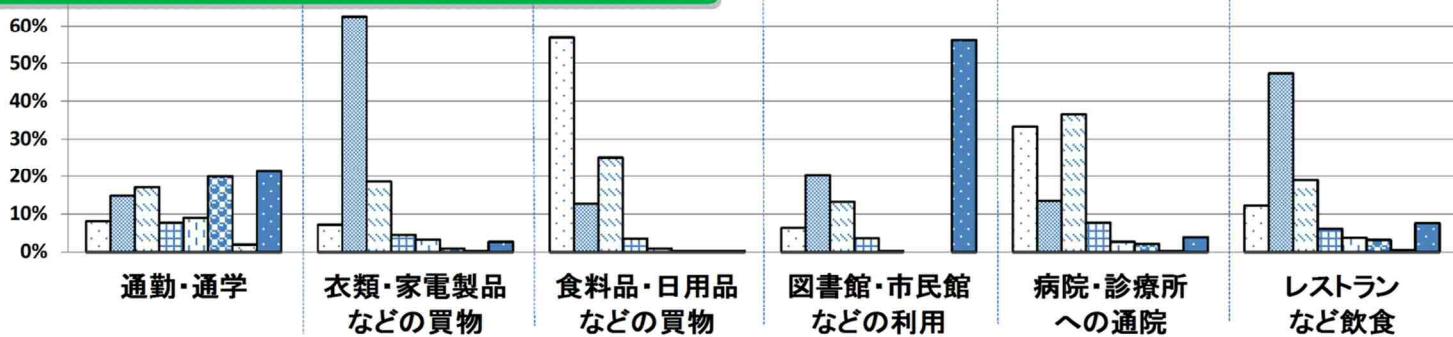
理由

#### 【バスをあまり利用しない理由】

移動は自転車を利用	59%
移動は自家用車を利用	34%
外出しない	14%
バスの運賃が高い	14%
時刻通りに到着できない	10%
電車の方が便利	10%
バス停まで遠い	5%
バスの本数が少ない	1%
その他	10%

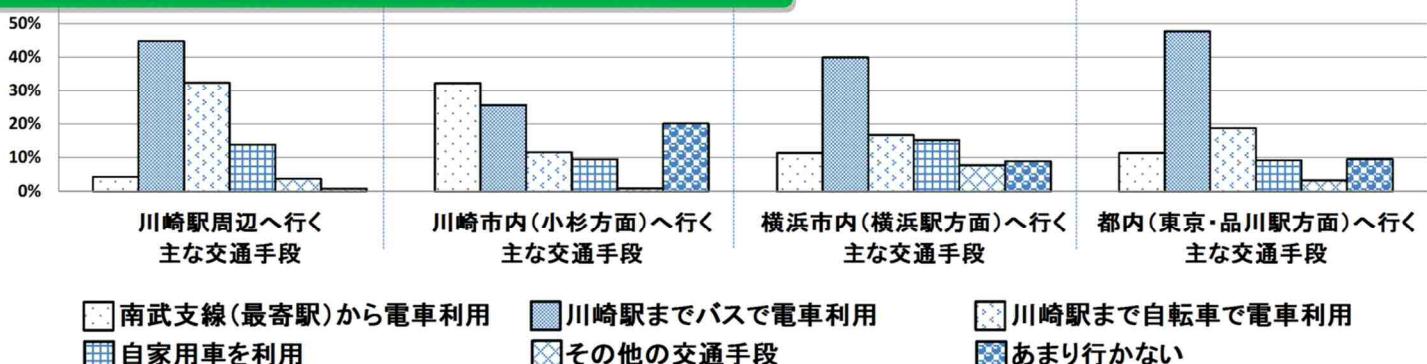
○南武支線の利用状況は、87%があまり利用しておらず、「バスや自転車の方が便利」との意見が多く挙げられました。また、バスについては、59%があまり利用していない状況であり、利用している世代は50代～70代が半数以上を占めており、20代は極端に利用率が低い結果となりました。

### ●目的別の主な行き先を教えてください。



□居住地周辺 □川崎駅周辺 □川崎区内 □川崎市内 □横浜市内 □東京都内 □その他 □あまり行かない

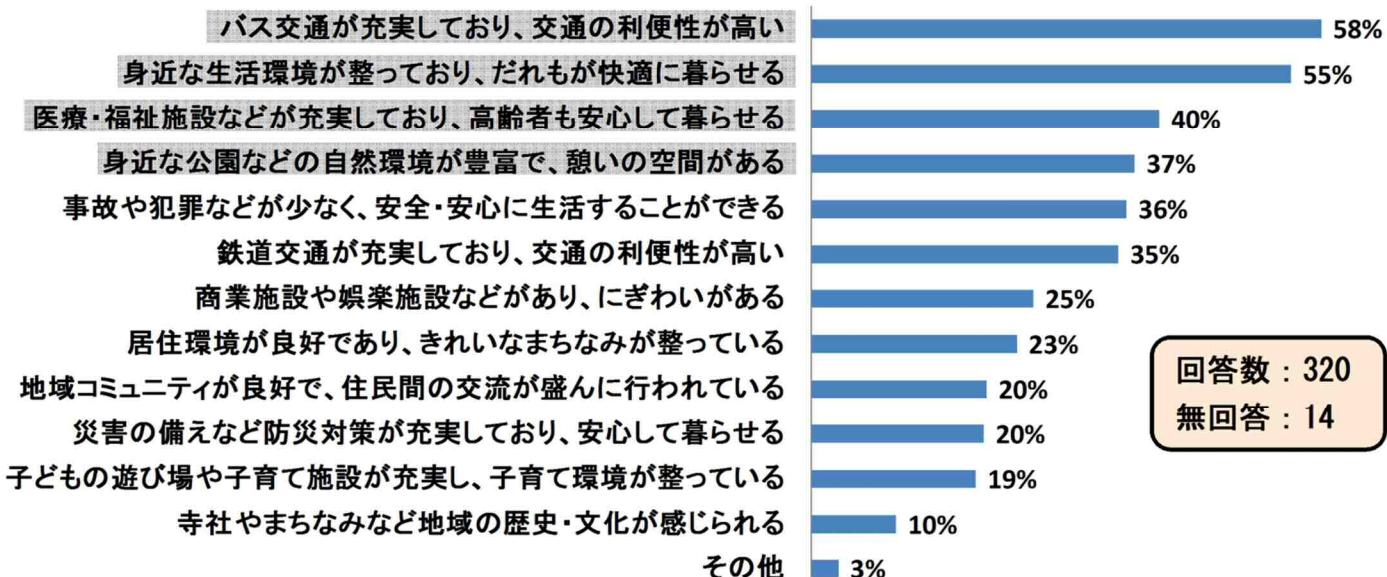
### ●行き先別の主な交通手段を教えてください。



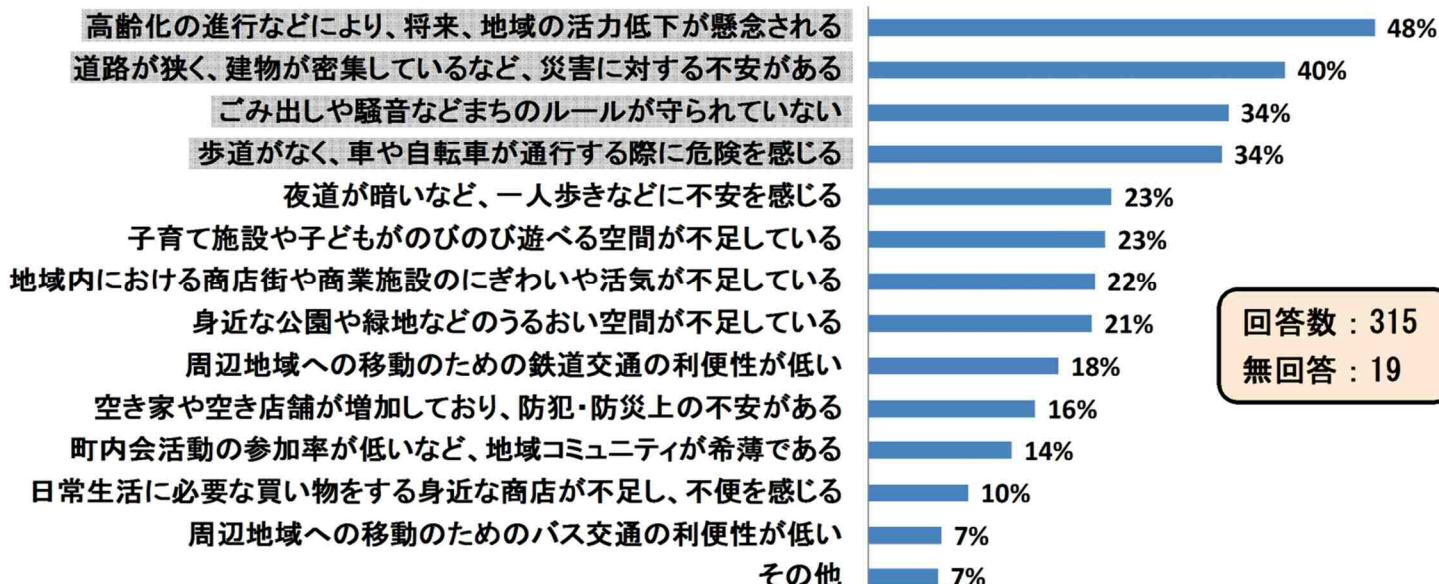
○衣類や家電等を目的とした買物、飲食等については川崎駅周辺が多く利用されており、日用品の買物には居住地周辺が主に利用されている結果となりました。また、行き先別の主な交通手段としては、いずれも川崎駅までバスや自転車を利用して、目的地まで電車利用されている傾向が見受けられました。②

## ■地域のまちづくりについて

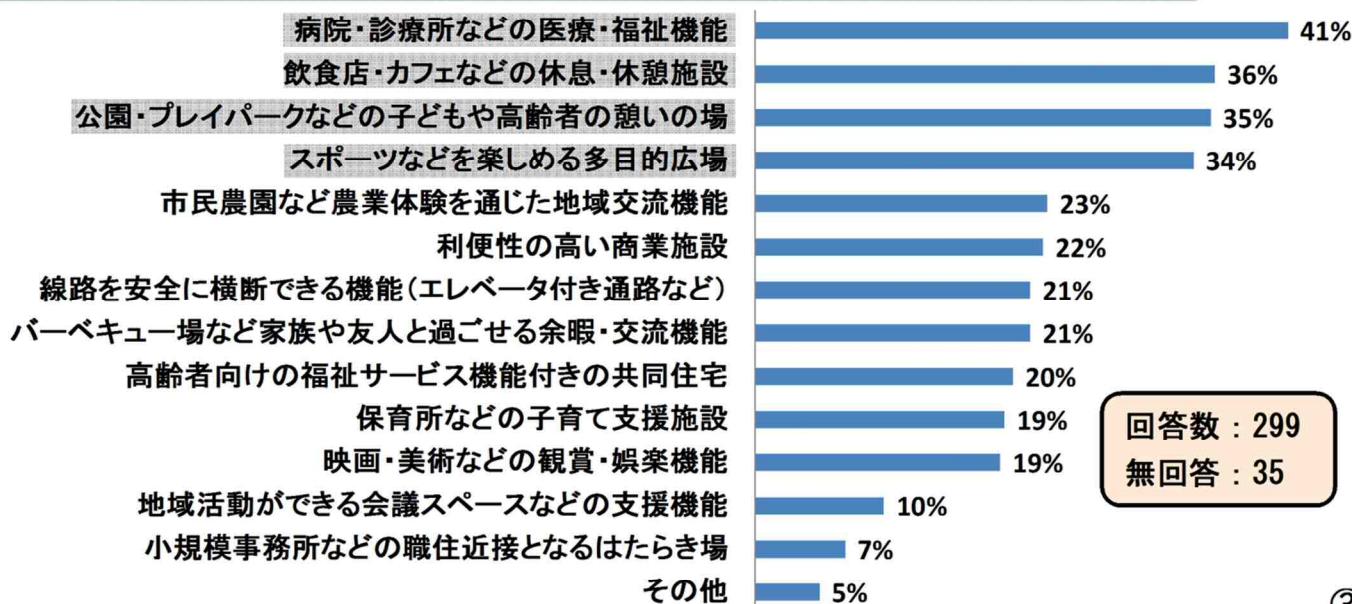
### ●身近な生活エリアの【まちの魅力】は何だと思いますか？（複数回答可）



### ●身近な生活エリアの【まちの課題】は何だと思いますか？（複数回答可）

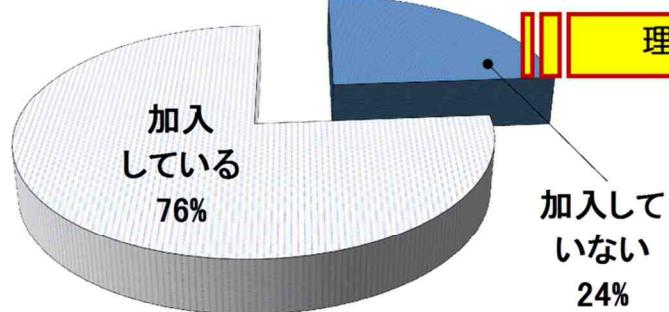


### ●身近な生活エリアに【あると良いと思う機能】は何ですか？（複数回答可）



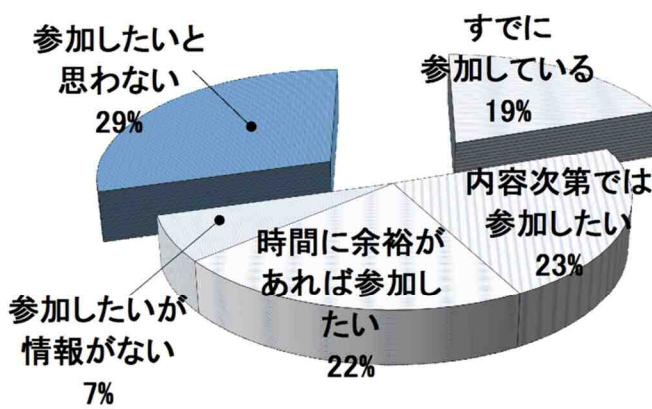
## ■地域活動・ボランティア活動について

### ●町内会・自治会への加入状況



加入のきっかけが無い	34%
活動が負担と感じる	30%
活動に関心が無い	29%
仕事や子育てが忙しい	28%
町内会の存在を知らない	23%
近所づきあいがわずらわしい	15%
その他	11%

### ●地域活動・ボランティア活動の参加状況



### ●参加している、又は参加したいと思う地域活動

地域イベントの開催関係	39%
公園やまちの環境美化	37%
子育て支援やこども会など教育関係	19%
防犯パトロール等、地域の防災・安全関係	18%
高齢者の見守りや健康増進など社会福祉関連	18%
行政・団体との連携等による地域のまちづくり	17%
自主防災組織など防災対策等	17%
広報誌や回覧、町内会たよりの発行等	13%
その他	3%

○町内会や自治会への加入状況については、若年層の加入率が低く、加入していない理由には「加入のきっかけが無い」が最も多い結果でした。また、地域活動・ボランティア活動については、52%の方が参加したい意向を示しており、特に高齢層の方に多い傾向が見受けられました。

### ■その他、地域のまちづくりに関するご意見や期待することなど（主な複数意見は以下のとおり）

- 交通面の意見が非常に多く、「南武支線の拡充（川崎駅への乗入や本数の増加希望等）」、「小田栄駅前の安全対策（踏切付近における交通ルールの徹底等）」、「自転車の交通マナーの改善」など。
- 防災面では、「道路の拡幅」、「大雨の対策」など。
- 防犯面では、「深夜の公園における治安対策」、「空き家対策」、「不審者対策」など。
- 環境面では、「駅周辺の環境整備」、「ゴミ出し場の不足（不法投棄含）」、「犬・猫の対策」など
- その他として、「子育て・高齢者支援施設の充実」、「子供向けのスポーツ施設」、「川崎駅東口の活性化」、「緑地の増加」、「公園の充実」、「地域の活性化」など。

川崎市では、地域の皆様からいただいたご意見を参考に、地域の課題解決と必要な機能の強化などにより、まちの魅力向上を目指していきたいと考えています。

より便利で、にぎわいがあり、安心して暮らせるまちづくりを地域の皆様とともに進めていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

※当該アンケート結果につきましては、9月中旬頃に本課のホームページにて掲載予定です。